

ダンボール紙相撲大会みささ場所 競技規則

1 カ士

- (1) カ士用ダンボールは三朝町教育委員会指定のものに限る。なお、ダンボールは三朝町教育委員会で希望者に無料で配布する。
- (2) 足の角度は変えないこと（配布したダンボールの角度を変えないこと）。
- (3) カ士となるダンボールは切らなくてもよい。ただし、切る場合はカ士の身長（カ士の足の折り目から頭の上まで）は 110cm 以上、幅（カ士の背中から腕の先まで）は 55cm 以上 60cm 以内とする。
- (5) カ士が開いてしまわないように、補強ダンボール（三角形）を内側に2箇所取付けること（支給された補強ダンボール以外の素材は使用しないこと）。
- (6) 必ず「しこ名」（カ士の名前）をつけること（例 三徳投入れ山）。
- (7) 必ず化粧（色塗り）をすること。
- (8) デザインは、何でもよいこととする（例：ロボット、怪獣、動物 など）。
- (9) カ士の作成（ダンボールを切る、補強ダンボールを取り付ける等）は大人が補助して作成することを可とする。ただし、カ士のデザイン（絵や色塗り）は子ども達で行うこと（多少の大人の補助は可とする）。

2 土俵

土俵は直径 1.6m とする。

3 大会総則

- (1) 本大会はチーム名を「部屋」と呼ぶ。（例：三朝チーム→三朝部屋）
- (2) 1つの部屋から何体のカ士でも出場することができる。
- (3) 予選リーグ戦を行い、各リーグ上位の部屋が決勝トーナメントに進出する。
- (4) ただし、参加部屋数により当日大会形式を変更する場合がある。
例) 参加部屋が少ない場合は総当りリーグ戦を行い、リーグ1位と2位の部屋が優勝決定戦を行う等。

4 競技者

- (1) 「部屋」の人数は小学生以下の子ども2名以上とし、「付き人」（土俵を揺らす競技者）は2名までとする。付き人は試合ごとにかわってもよい。
- (2) 小学2年生以下（未就学児含む）のみの部屋については、大人1名のみ「付き人」参加を認める。
例) 対角線に「子ども2名」＋「大人1名」
- (3) 「付き人」が参加できるのは1チームのみで、他の部屋には出場できない。

5 ルール

- (1) 土俵の中央に対戦する2体の力士を置き、付き人は対角線上に陣取る。土俵の端にある持ち手を「付き人」が持って揺らし、力士が倒れるか土俵から出たら負けとする。
- (2) 勝敗は行司軍配による。そのほか、審判を2人置き、もの言いがつけば行司と審判で協議して決める。
- (3) 試合は、予選は1回勝負、決勝は3回勝負とする。
- (4) 試合時間は1分30秒とし、時間内に勝敗がつかない場合は引き分けとする。
- (5) 倒れそうな力士を体で止めたり、土俵をたたいた場合は失格とする。

6 その他

本競技規則に定めのないことで問題が生じた場合には、行司、審判及び三朝町教育委員会事務局で協議し、決定する。